

タイトル 「われら横高応援団」

学校名 神奈川県立横須賀高等学校 P T A

講演テーマまたは研究テーマ 「 われら横高応援団 」

1 はじめに

横須賀高校について

明治 41 年に開校した歴史のある学校、平成 SSH (スーパーサイエンスハイスクール) の指定をうけ、現在は二期目となる。

自主自律は横須賀高校に深く根付いた精神で、学校行事においても生徒の自主性が尊重されている。PTA でも生徒を対等なパートナーとして、生徒の意向を踏まえたサポートをするように心がけている。

横須賀高校の特色

3年間クラス替えなし

65分間授業

SSH (スーパーサイエンスハイスクール)

専門授業Principia(プリンキピア)

著名な卒業生

小柴 昌俊 (物理学者 ノーベル賞受賞者)
猪熊 功 (東京オリンピック柔道金メダリスト)
小泉 純一郎 (元内閣総理大臣)
上地 南明 (横須賀市長)
吉田 雄人 (前横須賀市長)
寺田 周平 (サッカー元日本代表)



2 横須賀高校 PTAについて

役員会、実行委員会、各委員会から成り、PTA の運営に直接かかわることはないが茶話会係というものが存在する。クラス内の懇親を図ることに一役かっている

3 各委員会の活動紹介

<予算会計委員会>

PTA の予算や実績の取りまとめを行っている

私費会計監査や学校徴収金運営協議会への参加など PTA の予算管理だけでなく広く学校のお金に関するこに関わる

<広報委員会>

年に三回広報紙を発行している。活動は月 2 回、発行月は毎週活動している。

保護者に公開されていないイベントもたくさんあるため先生方とも連携を取りながら取材をしている。

広報委員会



<保健委員会>

「心と体の健康」をテーマに学校生活をより豊かにする活動を行っている。

学食試食会や文化祭でヨガ教室や健康チェックコーナーを実施。

保健委員会

心と体の健康をテーマに、学校生活をより豊かにするイベントを計画・運営しています

【人数】

保健委員会

11名(3年:4名、2年:4名、1年:3名)



【主な活動】

・学食試食会の実施

・文化祭でヨガコーナー・健康チェックコーナーの設置・運営

<成人委員会>

会員同士の親睦を目的に楽しいイベントを開催。「軍港めぐり＆絶品イタリアンランチ」「劇団四季観劇」の2つの企画を開催。この2つを同時募集し、参加者がどちらか1つを選ぶことにしてこによってより多くのご家庭にご参加いただけることになった。

成人委員会

会員同士の親睦を目的に楽しいイベントを開催しています
令和7年度は2企画・4コースをご用意しました

・成人委員:9名(各学年×3名)
・担当制:実行担当・涉外担当・PC担当

今年度の取り組み

- 【共通】
・申込と抽選方法の効率化
・よくある質問&問合せフォームの新設
【軍港めぐり】
・近場で日曜日開催(アンケートの声を反映)
・グループLINEの作成(緊急連絡用)
・領収書兼 携帯引換券を色分け(ミス防止)
・代替え観光スポット準備(欠航時対策)



<交通安全委員会>

「事故に遭わない・合わせない」ためのサポートをしている。毎年1年生にセイフティカード、冊子、反射ストラップを配布している。冊子は横須賀高校オリジナルで横須賀警察署の監修を得て作っている。

交通安全委員会

2. 朝の交通安全指導

10月初旬の4日間、横須賀警察・先生方・生徒の皆さんと交通指導をしています



<学級委員会>

保護者間の親睦を深め、学校、学年及び学級の情報交換の手助けをすることを目的として活動している。「受験体験談を卒業生と保護者から」と題したシンポジウムを開催。

160人の募集が数日で埋まるほど人気のイベント

学級委員会 PTAフォーラム



● 「進路についてのシンポジウム」
～受験体験談を卒業生と保護者から～
本校卒業生と保護者を招き、受験生である子どもの間わり方、これからとの時期の過ごし方、留意すべきことなどを直接伺いました



4 垣根をこえて

横須賀高校 PTA が大切にしていることは垣根をこえて協力し合うということ。

文化祭では学校から急遽要請のあった水餃子を販売したり、体育祭では予備費を使って遮光カーテンを買ったりと委員会の垣根をこえて協力することができた。

こういうことができるのも学校との信頼関係があってこそのことだと思う。

